

木材ニューズレター

(財)日本木材総合情報センター

TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(19年10月分)

1. 調査実施期間 平成19年 9月20日 ~10月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。

10月分の回答企業数は38社、回収率は84.4%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = { (「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合) } ÷ 2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

| | | 19/10月 | 11月 | 12月 |
|------|-----|--------|--------|--------|
| 仕入動向 | 国産材 | △ 18.3 | △ 5.0 | △ 8.6 |
| | 外材 | △ 27.9 | △ 20.6 | △ 13.6 |
| 販売動向 | 国産材 | △ 21.7 | △ 6.7 | △ 13.8 |
| | 外材 | △ 21.2 | △ 7.6 | △ 18.8 |
| 在庫動向 | 国産材 | △ 8.6 | △ 1.7 | △ 3.6 |
| | 外材 | △ 23.4 | △ 15.6 | △ 12.9 |

仕入れは、国産材、外材とも大きなマイナス幅を着実に縮めるが、やや低迷模様。
販売も国産材、外材とも秋季に一時的回復だが、年末先行き状況は悪い。
在庫も同様に、国産材、外材ともマイナス幅大きく縮めるているが、当面明るさは難しい。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

| 品目 | 19/10月 | 11月 | 12月 |
|----------------|--------|-------|-------|
| スギ正角(グリーン) | △ 11.4 | △ 2.3 | △ 2.4 |
| スギ正角(KD) | △ 2.3 | △ 2.3 | 0.0 |
| ヒノキ正角 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| ヒノキ土台角 | 0.0 | 2.2 | △ 2.4 |
| 米ツガ正角(現地挽) | 21.1 | 13.2 | 13.2 |
| 米ツガ防腐土台角 | 16.7 | 16.7 | 10.0 |
| 米ツガ割物(現地挽) | 7.1 | 7.1 | 9.5 |
| 米マツ平角 | △ 10.9 | △ 2.2 | 0.0 |
| 北洋アカマツタルキ(現地挽) | △ 18.2 | △ 4.5 | 0.0 |
| ホワイトウッド集成管柱 | △ 43.2 | △ 6.8 | 0.0 |
| レッドウッド集成平角 | △ 26.3 | △ 7.9 | 0.0 |
| 型枠合板(国産) | △ 33.3 | △ 8.3 | 2.9 |
| 型枠合板(輸入) | △ 31.0 | 0.0 | 5.0 |
| 針葉樹合板 | △ 27.5 | △ 5.0 | 5.3 |

スギ正角(グリーン、KD)小さなマイナス幅、ゼロと堅調。またヒノキ正角、土台も同様に秋季はゼロ、小さなマイナスとほぼ安定している。
米ツガは各品目絶好調。米マツ平角は、マイナスを一気にゼロへ回復だが勢いがない。
北洋アカマツタルキは大きなマイナスからゼロとやや好転気味である。
WW集成管柱、RW集成平角ともゼロへ大きくマイナスを縮めるが、先高感なく弱含み。
合板(針葉樹を含む)は、最悪のマイナス幅だが、年末に向けてはプラス基調へ大きく回復し、今後が注視される。

| 1. 荷動き | | コメント | | |
|-----------|--|---|---|---|
| 仕入 動向 | | 米マツ一般材丸太では、米材コストの輸出価は9月積みも小幅下げとなったが、カナダ材はストの長期化から米材セミカスケードタイプへの引き合いが増し、強含みへと変化している。(東京:問屋) 産地では他国の買い付けが増えている訳でもないが、イスラム教の断食月、中国では国慶節と生産量が低下するので、産地価格は変化が無く、依然として日本市場に合った価格は引き出せない。(東京:問屋) 9月20日以降、細いながら荷動きが出てきた。今まで在庫を絞っていた為欠品材が出ている。ただ在庫を増やすまでには行っていない。(東京:問屋) カナダストライキの影響で全く入荷なし。(東京:問屋) スト続行中のため入荷のメドが立たず、激減になっている。(東京:問屋) 仕事が少し出てきた感じはある。新材の季節となりやや在庫を増やす予定。(東京:問屋) 現地の出材は順調。価格は保合い。(東京:問屋) 無風。来年にならないと動きが出ないようだ。(東京:問屋) 11月からは、入荷順調の予定。(東京:問屋) 町場工務店への販売は全く期待できない。(東京:仲買小売) 10月に入ってもヒノキ土台を中心に荷動き悪化。注文材が多少あるが小動き。(東海:問屋) 建築確認の遅れだけではないと思いますが、市況低迷、政権の安定とともに秋需に期待。(東京:仲買小売) | | |
| | 販 売 動 向 | | 米材丸太コスト材の荷動き回復が見られるようになってきた。(東京:問屋) 見積り、問い合わせが増えてはきたが、顧客の要望する価格では在庫品でトントン、新規調達ではまったくの逆ザヤ。(東京:問屋) 入荷の減少にかかわらず、当用買いの動きは変わらず。価格も横ばい。(東京:問屋) 注文がくるが荷物が少ないため、実績のある特定販売先のみとなる。(東京:問屋) B/L売りは低調。注文材等細かい仕事は多い。(東京:問屋) 在庫少なく注文に応じ切れない(引き合いも少ないが)。(東京:問屋) 当社工事部のリフォーム工事は絶好調。(東京:仲買小売) 荷動き全く悪い。確認申請の遅れもあるが、全体に需要が落ち込んでいる。(東京:仲買小売) 秋需に期待したが、現在のところ不発。リフォームで何とかしのいでいる。(東京:仲買小売) 仕事のあるお客さんの数が少ない。又リフォーム工事ばかりで売れる量も少ない。(東京:仲買小売) 確認申請許可が徐々に下りてきて新築木造、鉄骨造、RC造、リフォーム全般に材料がかなり出てきている。(東海:仲買) | |
| | | 在 庫 動 向 | | 各問屋の手持ち在庫は減少している。(東京:問屋) 在庫も激減しており、不安である。(東京:問屋) 注文材用などの特種寸法品の在庫は殆ど無い。(東京:問屋) いつ状況が変化するか分からないので、いつも在庫は一定にしている。(東京:問屋) 在庫が非常に少ない。(東京:問屋) |
| | | | 2. 価格動向 | |
| | | | スギ正角 | 今月、柱は小安い物もあり。新材が出れば値段はしっかりして行く模様。(東京:問屋) |
| | | | ヒノキ正角 | ヒノキ材の価格安定供給は販売もしやすい。(東海:問屋) |
| | | ヒノキ土台角 | | |
| | | 米ツガ | 荷動きの良いのはツガグリーンの角。KDの角・割はいまいち。10月後半から値上げとなる。(東京:問屋) | |
| | | 米マツ平角 | | |
| | | 北洋アカマツタルキ | 関税問題はどこへやら。値上がりの筈が値下げとは。(東京:仲買小売) | |
| WW・RW集成管柱 | | 国内集成材メーカーはかなり危機的な状況が続いている。(東京:問屋) 先が見えないほど泥沼。(東京:問屋) | | |
| 合板 | 型枠は輸入品が堅調になり始めた為、国産品生産も徐々に引き締まる気配。価格は内外ともに上昇傾向になる見通し。針葉樹合板は出荷が低迷し、在庫調整がうまく進まず、非常に多い在庫を抱えている。(東京:問屋) 今年の品不足・値上がりが嘘のよう。(東京:仲買小売) 今月底値？ (東京:仲買小売) | | | |